

第32回 日本骨折治療学会へのお誘い

第32回日本骨折治療学会を仙台市で開催させていただくことになり、大変光栄に存じ上げます。仙台市での開催は初めてのこととなりますが、会員の皆様に参加して良かったと思っただけのような学会にすべく準備をしております。

期日は、平成18年7月14(金)～15日(土)、会場は仙台国際センターを予定しております。これまで多くの医学会開催の実績があり満足していただける会場設営ができると思っております。この時期、仙台は梅雨ですが気温は涼しく木々の緑が美しい季節ですので、会場周辺の広瀬川や青葉城趾散策も気分転換になろうかと思えます。

学会のテーマは「骨癒合を考える」と致しました。私たちが骨折治療を行う上で、骨癒合を適切に診断し、骨癒合を促進するための方法を考えることは重要な問題です。骨折した骨が癒合する間に人体ではどのようなことが起こっているか、そして骨癒合を診断する手段として何が適切なのかなどについて専門家に討論していただきます。また、現在骨癒合促進のための手段として何が有効なのかについても討論していただこうと思っております。

特別講演は日本大学法医学教室の押田教授に「外傷治療と医療訴訟」についてお話を伺う予定です。また、海外からも5人の先生をお招きし講演をお願いしております。パネルディスカッションは第31回日本骨折治療学会からの継続事業として「卒後外傷教育」をとりあげます。主題としては、上腕骨近位端骨折、大腿骨転子部骨折、橈骨遠位端骨折、脊椎骨折、骨盤骨折、ピロン骨折、偽関節治療、DVT・PTE、などを取り上げたいと計画しています。その他、教育研修講演、ヌーンタイムレクチャー、ナイトディベイトも企画しております。

仙台は多くのホテルがあり宿泊施設が完備しており、牡蠣、牛タン、笹かまぼこ、ホヤなどおいしい食べ物も豊富です。学会の翌日からは連休（海の日）になっていますので、近郊の松島、平泉中尊寺、山寺、蔵王などの観光もお勧めです。また、仙台近郊には秋保温泉、鳴子温泉、蔵王温泉などの温泉地にも恵まれており、学会後の疲れを癒すのに最適です。ご家族でおいでになられても楽しめると思います。札幌から仙台までは飛行機で1時間ですので、北海道の先生方のご参加をお待ち申し上げます。

第32回日本骨折治療学会

会長 佐藤 克巳 (東北労災病院)